

お知らせ

<同時資料提供先>



令和7年10月6日

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

地方自治体が抱える施設管理の課題に対し、民間企業等が保有するシーズ技術を紹介します【傍聴参加者の募集】

～ インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」第15回・第16回ピッチイベントの開催 ～

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」において、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題（ニーズ）について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るピッチイベントを以下のとおり開催します。つきましては、傍聴参加者を募集します。

■開催日時・場所

第15回ピッチイベント：令和7年11月 4日（火）13:30～16:30

第16回ピッチイベント：令和7年11月14日（金）13:30～16:20

■開催場所

復建調査設計株式会社 別館6階 大会議室（オンライン併用）

広島県広島市東区光町 2-10-11

■開催内容、傍聴参加の申込要領

別添【傍聴参加者の募集】による

申込み期限：令和7年10月24日（金）

➤本ピッチイベントの開催案内、傍聴参加者の募集は、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のホームページにも掲載されています。傍聴参加申込書のオリジナルデータはこちらからダウンロードできます。 ホームページ URL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/im/index.html>

➤中国地方整備局は、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとなるインフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。

➤当日、取材を希望される場合は、開催日の前日までに、以下の問い合わせ先へ連絡願います。

問い合わせ先

【ピッチイベントの内容に関すること】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）

（復建調査設計株式会社 保全構造部内）TEL：050-9002-1744

天満 真士（E-mail：jcim-chugoku@fukken.co.jp）

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

国土交通省中国地方整備局 企画部 TEL：082-221-9231（代表）

企画部 事業調整官 守山 和彦（内線3116）

広域計画課 課長補佐 岡田 直人（内線3212）

令和7年10月6日

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

第15回・第16回ピッチイベントの開催

【傍聴参加者の募集】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題(ニーズ)について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る第15回及び第16回ピッチイベントを下記のとおり開催いたします。

各回で取り扱う施設管理者ニーズは別紙－1(第15回)と別紙－2(第16回)、シーズ提供者と技術の名称は別紙－3(第15回)と別紙－4(第16回)に示すとおりであり、傍聴参加者を募集します。

記

■ 開催日時

第15回ピッチイベント：令和7年11月 4日(火) 13:30～16:30

第16回ピッチイベント：令和7年11月14日(金) 13:30～16:20

■ 開催場所

復建調査設計株式会社 別館大会議室 (オンライン併用)
(広島市東区光町2-10-11)

お問い合わせ先

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会

天満真士、松本豊久 (復建調査設計株式会社)

E-mail：jcim-chugoku@fukken.co.jp

TEL：050-9002-1744

申 込 要 領

1. 申込み手続き

- 定 員 : 会場70名、オンライン80名 (いずれも申込み先着順)
- 申込み方法 : 傍聴参加者申込書(別紙-5)を電子メールにて申込み先に送付
- 申 込 先 : インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会
天満真士、松本豊久(復建調査設計株式会社)
メールアドレス: jcim-chugoku@fukken.co.jp

2. 申込み期限

令和7年10月24日(金)

第15回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 : 河道及び護岸の変状箇所の効率的かつ定期的な調査

【理 由】

河道及び護岸の調査は現地確認により行っているが、大規模出水後等の緊急を要する場合や通常点検時において時間を要している。

【条件等】

- ◇極力費用が安価な技術
- ◇緊急的また定期的な調査において安定的に調査が可能であること

テーマ No. 2 : 小規模橋梁への新技術活用

求める技術と理由	条件等
〔No.2-1〕 小規模橋梁向けの新技術活用 【理 由】 本市が管理する橋梁の約8割が15m未満の橋梁となっており、新技術の活用の検討が求められているが費用面の課題等があり採用に至らない場合がほとんどである。 新技術の活用に関する調査を依頼されることが多くなっているが事例がなく困っている。	◇従来工法と比較し安価な技術であること ◇工期の短縮につながる事
〔No.2-2〕 新技術の導入による補修等のコスト削減 【理 由】 点検及び補修の際に新技術の活用を検討しているが、導入することによる大幅なコストの削減を見込めない。点検及び補修の際に新技術を活用したことにより、狭小橋梁等でもコスト削減がされた事例があれば知りたい。	◇狭小橋梁でも使用できる新技術
〔No.2-3〕 JR跨線橋の修繕 【理 由】 JRの施工上の制約等や仮設が必要なため通常の道路橋に比べ補修等に莫大な費用がかかり、市の財政上非常に負担が大きく事業の進捗にも大きく影響する。	◇JR跨線橋に特化した安価な技術
〔No.2-4〕 小規模鋼橋梁のケレン方法 【理 由】 小規模な鋼橋の場合は桁端部や支承周りが極端に狭小な場合があり、電動工具によるケレン作業が十分にできない場合がある。	◇狭小な空間でもケレン作業の品質が確保できる技術

テーマ No. 3 : 下水道の管渠を部分的に補修する修繕技術

【理 由】

1スパンごとの改築更新(製管工法)を基本に老朽化対策を進めているが事業費の高騰や事業の長期化が課題となっている。

【条件等】

◇口径2m以上の汚水管においてクラック、破損、浸入水の部分的な補修を改築と同等の耐久性を確保できる工法であること

◇短期間で施工可能であること

第16回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 : 路面性状調査	
求める技術と理由	条件等
〔No.1-1〕 路面性状調査 【理 由】 市内道路の平常パトロール時に付加価値ができるよう、市内巡回に併せて車載式で路面性状データを取得、データ蓄積、解析できるような仕組みをつくりたい。	◇舗装長寿命化修繕計画に反映できるような技術 ◇極力費用が安価な技術
〔No.1-2〕 路面性状調査 【理 由】 市内で実施継続中である道路モニタリング事業で取得、蓄積したIRI値等のデータを活用できるシステムを構築したい。	◇舗装長寿命化修繕計画に反映できるようなシステム ◇共同で研究ができる体制 ◇極力費用が安価な技術
〔No.1-3〕 舗装のわだち量(深さ)を自動で把握する技術 【理 由】 舗装のひび割れなどは車載探査機等で把握できるがわだち量は把握できず、パトロール者が降車し人力で計測する必要がある。	◇パトロール車の車載カメラ等でわだち深さ等を把握できること

テーマ No. 2 : 公園の遊具・四阿の画一的な点検技術の確立及び点検の省力化

【理 由】

有資格者が少なく、また人力による点検であるため労力がかかる。

【条件等】

◇極力費用が安価な技術

◇設置後、点検から補修・更新まで一連で管理するアプリ等

テーマ No. 3 : 上水道の地中可視化技術

【理 由】

管路情報を記した完成図が不十分な場合に管路の埋設位置を把握することができない。

【条件等】

◇試掘調査と比較して短期間、安価で調査が可能であること

テーマ No. 4 : 緊急時に樹木医等の専門的な判断を仰ぐことなく職員点検等で
樹木の状態(幹の空洞化等)を簡易に把握し樹木の伐採判断する技術

【理 由】

公園の樹木の幹が空洞化するなどして倒木や落枝等が発生することがある。樹木の状態を簡易的に把握する方法がない。

【条件等】

◇緊急時に樹木医等の専門的な判断を仰ぐことなく、ポータブル機器等で職員点検等で樹木の状態を把握したい

テーマ No. 5 : 道路路肩の除草、街路樹や民地等からの樹木が道路の建築限界を侵している箇所を
道路パトロール車に搭載したカメラ画像等を活用するなどして迅速に認識・把握する技術

【理 由】

日常の目視パトロールでは道路の建築限界を侵している樹木等を見落とすこともあり、通行車両に接触するなどのトラブルが発生することがある。

【条件等】

◇パトロール車の車載カメラ等で樹木等が建築限界をどの程度侵しているかを把握できること

第15回ピッチイベント テーマごとのシーズ提供者と技術の名称

テーマNo.	ニーズ	シーズ提供者	技術の名称
No. 1	河道及び護岸の変状箇所の効率的かつ定期的な調査	株式会社総合システム	河川点検システム「iTEN-River」
No. 2	小規模橋梁への新技術活用	ボタニカルブラスト工法協会	ボタニカルブラスト工法
		フルサト工業株式会社	レーザーケレン工法
		アルファペイント株式会社	セレクトコートさび鉄構造物リニューアル工法
		鳥城エンジニアリング株式会社	NKさび安定化防錆工法
		阿南電機株式会社	ULTRA-WAX-TAPE
		積水化学工業株式会社	鋼材補修向け重防食シート
		SGエンジニアリング株式会社	IPH工法(内圧充填接合補強)
		株式会社コクリエ	小規模橋梁の点検ガイドライン「基本定期点検」
No. 3	下水道の管渠を部分的に補修する修繕技術	積水化学工業株式会社	高透明高耐久シート

第16回ピッチイベント テーマごとのシーズ提供者と技術の名称

テーマNo.	ニーズ	シーズ提供者	技術の名称
No. 1	路面性状調査	西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	舗装3要素を全自動解析できる簡易路面調査システム～Smart-EAGLE type-P～
		バンプレコーダー株式会社	小型専用端末またはスマホを利用した簡易路面性状測定技術(バンプレコーダー)
		バンプレコーダー株式会社	IRI値等の路面性状調査と道路維持管理へのデータ視覚化技術(バンプレコーダー)
No. 2	公園の遊具・四阿の画一的な点検技術の確立及び点検の省力化	京セラみらいエンビジョン株式会社	SmartBee
No. 3	上水道の地中可視化技術	株式会社ウエスコ	地中可視化
No. 4	緊急時に樹木医等の専門的な判断を仰ぐことなく職員点検等で樹木の状態(幹の空洞化等)を簡易に把握し樹木の伐採判断する技術	西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	樹木の引張試験と画像解析で樹木の耐風速を簡単に推定する技術～RTチェッカー～
No. 5	道路路肩の除草、街路樹や民地等からの樹木が道路の建築限界を侵している箇所を道路パトロール車に搭載したカメラ画像等を活用するなどして迅速に認識・把握する技術	日本電気株式会社	くるみえ for Cities

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

第15回・第16回ピッチイベント

傍聴参加者申込書

令和 7 年 10 月 日

参 加 希 望	☐ 第15回ピッチイベント（令和7年10月 4日） 会場 ・ WEB		
	☐ 第16回ピッチイベント（令和7年10月14日） 会場 ・ WEB		
フ リ ガ ナ			
企 業 ・ 団 体 名 称			
フ リ ガ ナ			
参 加 者			
フ リ ガ ナ		フ リ ガ ナ	
所 属		役 職	
フ リ ガ ナ	〒		
所 在 地			
連 絡 先 メールアドレス			
電 話 番 号			

注意事項

1. 申込みの際の電子メールの件名は、「ピッチイベント傍聴参加者申込み」としてください。
2. 参加形式は、会場またはWEBを指定してください。
3. ご記載いただいた個人情報は、ご本人の同意なく当ピッチイベント以外で利用することはありません。